

# 名教スタッフ版

## よめよめグラインプリ

名前

手島 和男

★読んだ本について書いてみよう。

日付
2月 6日

ページ数
373ページ

①本の題名

小澤征爾さんと、音楽について、話をする

②本の作者

小澤征爾 × 村上春樹

③私のおすすめの本を、紹介します。

村上春樹さんといえばジャズやクラシック音楽にとても詳しい音楽好きの作家としても知られています。その村上さんが世界的な指揮者、小澤征爾さんと対談した時の会話を出版したものです。2009年に小澤さんは癌の切除手術をしました。それ以来、世界中を飛び回る忙しかつた活動を制限し、療養に多くの時間をあてています。そんな中で以前から知り合っていた村上さんとゆっくり音楽の話をするようになったそうです。小澤さんのファンである私は、一気に読み終えてしまいました。

他にも小澤さんの口から、今まで私が知らなかったエピソードがいくつも語られています。その一つを紹介します。

小澤さんは1959年、フランスで指揮者コンクールに優勝しました。今から50年以上も前のことです。東洋人がクラシックの本場のコンクールで優勝するなんて奇跡みたいなものでしょうね。その後のヨーロッパ、アメリカでの活躍は素晴らしいものです。本では小澤さんが若いころ、バーンスタインのアシスタントをしていたときのエピソードやカラヤンから学んだことなどが多く語られています。カラヤンとバーンスタインといえば、世界を二分する大指揮者。そんな二人に認められ、身近なところで音楽を学べたなんて、小澤さんという人はどれだけ幸せな人だろうと思います。

この本が面白いのは、普段自分の音楽のことを話すことの少ない小澤さんが、多くのことを、率直に話しているところ。自分が録音したレコードを聴きながら、「ここは、もっと積極的にいくべきだったかななんて言っているところは興味深いです。村上さんの音楽に関する知識の多さと深さにも驚きました。そんな村上さんだから、小澤さんからいろいろな想い出や話を引き出せたのかと思います。

音楽好きの人なら面白く読める本です。

ぜひ、読んでみてください。